

令和6年度県政モニターアンケート 調査結果報告書

「こども施策について」

福岡県福祉労働部
こども未来課

1. 調査目的

国において令和5年4月から「こども家庭庁」が発足し、こどもの最善の利益を第一に考え、こども政策を強力に進めていくため、こども基本法（※）が施行されました。

福岡県においても、こどもを取り巻く課題が多様化・複雑化する中、令和5年4月から新たに「こども未来課」を新設し、こども施策を総合的に推進しています。

県として、全てのこどもが健やかに成長できる社会の実現に向けて取り組んでいくことは、県政における最優先の課題の一つであると考えております。

そのために、県民の皆様のごども施策等に関する御意見をお聞かせいただき、今後のこども施策の推進の参考にさせていただきます。

※ こども基本法とは

こども基本法は、こども施策を社会全体で総合的かつ強力に推進していくための包括的な基本法として、令和4年6月に成立し、令和5年4月に施行されました。

こども基本法は、日本国憲法および児童の権利に関する条約の精神にのっとり、全てのこどもが、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指し、こども政策を総合的に推進することを目的としています。

同法は、こども施策の基本理念のほか、こども大綱の策定やこども等の意見の反映などについて定めています。

2. 調査時期

令和6年10月10日～令和6年11月7日（第4回）

3. 回答者の構成

項目	総数	性別			年代別					
		女性	男性	その他	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
人数	365	191	171	3	50	61	76	64	74	40
構成比	100.0%	52.3%	46.8%	0.8%	13.7%	16.7%	20.8%	17.5%	20.3%	11.0%

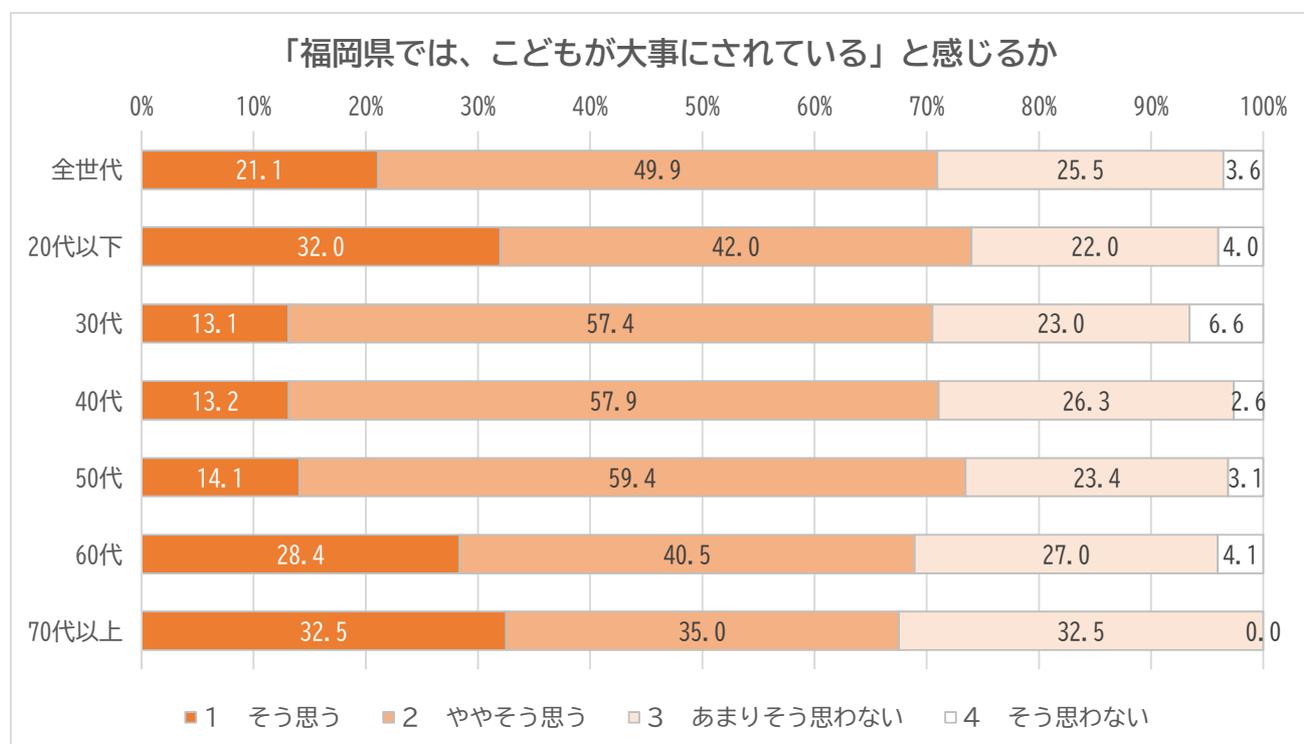
※各選択肢の構成比は四捨五入しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

4. 回答結果

問1 あなたは「福岡県では、こどもが大事にされている」と感じますか。
次の中から最も当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

	回答数	割合
1 そう思う	77	21.1%
2 ややそう思う	182	49.9%
3 あまりそう思わない	93	25.5%
4 そう思わない	13	3.6%
	365	100.0%

回答	全世代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 そう思う	77	16	8	10	9	21	13
2 ややそう思う	182	21	35	44	38	30	14
3 あまりそう思わない	93	11	14	20	15	20	13
4 そう思わない	13	2	4	2	2	3	0
計	365	50	61	76	64	74	40



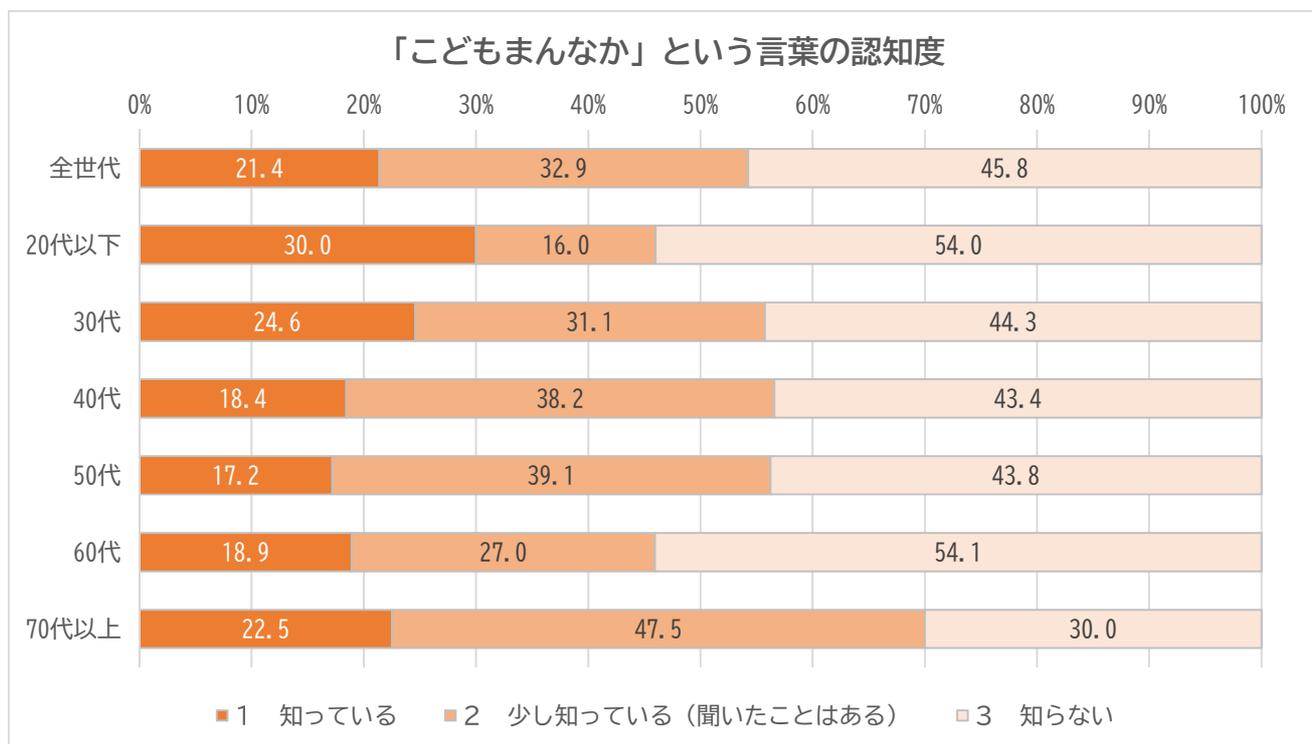
※各選択肢の割合は四捨五入しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

問2 国（こども家庭庁）は、常にこどもの最善の利益を第一に考え、こどもに関する取組・政策を社会の真ん中に据える「こどもまんなか社会」の実現を目指して、こども施策を推進していくこととしています。

あなたは、この「こどもまんなか」という言葉を知っていますか。
 次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

	回答数	割合	(参考) R5県政モニター
1 知っている	78	21.4%	16.7%
2 少し知っている（聞いたことはある）	120	32.9%	33.6%
3 知らない	167	45.8%	49.7%
	365	100.0%	100.0%

回答	全世代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 知っている	78	15	15	14	11	14	9
2 少し知っている（聞いたことはある）	120	8	19	29	25	20	19
3 知らない	167	27	27	33	28	40	12
計	365	50	61	76	64	74	40



※各選択肢の割合は四捨五入しているため、合計が必ずしも 100%にならない場合があります。

問3 「こどもまんなか社会」の実現には、わが国も1994年に批准している「児童の権利条約（こどもの権利条約）」の考え方がとても大切です。

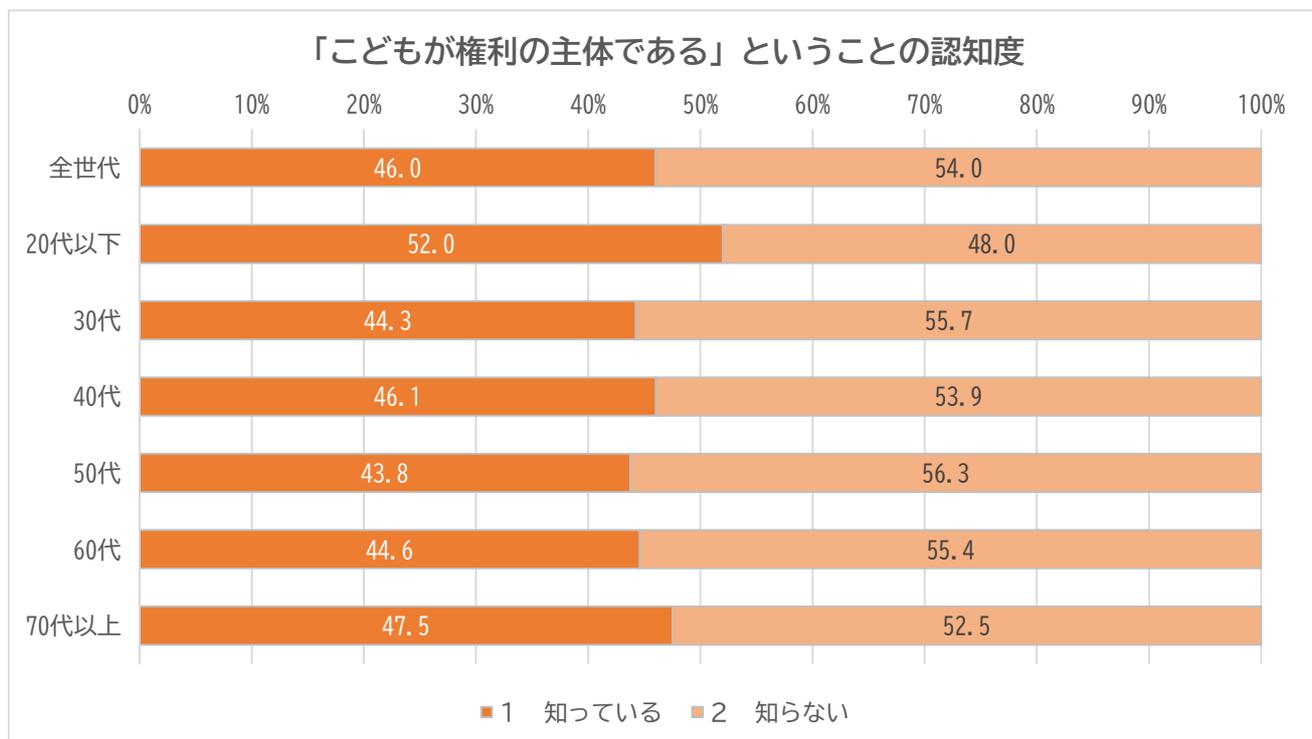
この条約では、18歳未満の児童（こども）を権利を持つ主体と位置づけ、大人と同様、ひとりの人間としての人権を認めるとともに、成長の過程で特別な保護や配慮が必要なこどもならではの権利も定めています。

あなたは「こどもが権利の主体である」ということを知っていますか。

次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

	回答数	割合
1 知っている	168	46.0%
2 知らない	197	54.0%
	365	100.0%

回答	全世代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 知っている	168	26	27	35	28	33	19
2 知らない	197	24	34	41	36	41	21
計	365	50	61	76	64	74	40



※各選択肢の割合は四捨五入しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

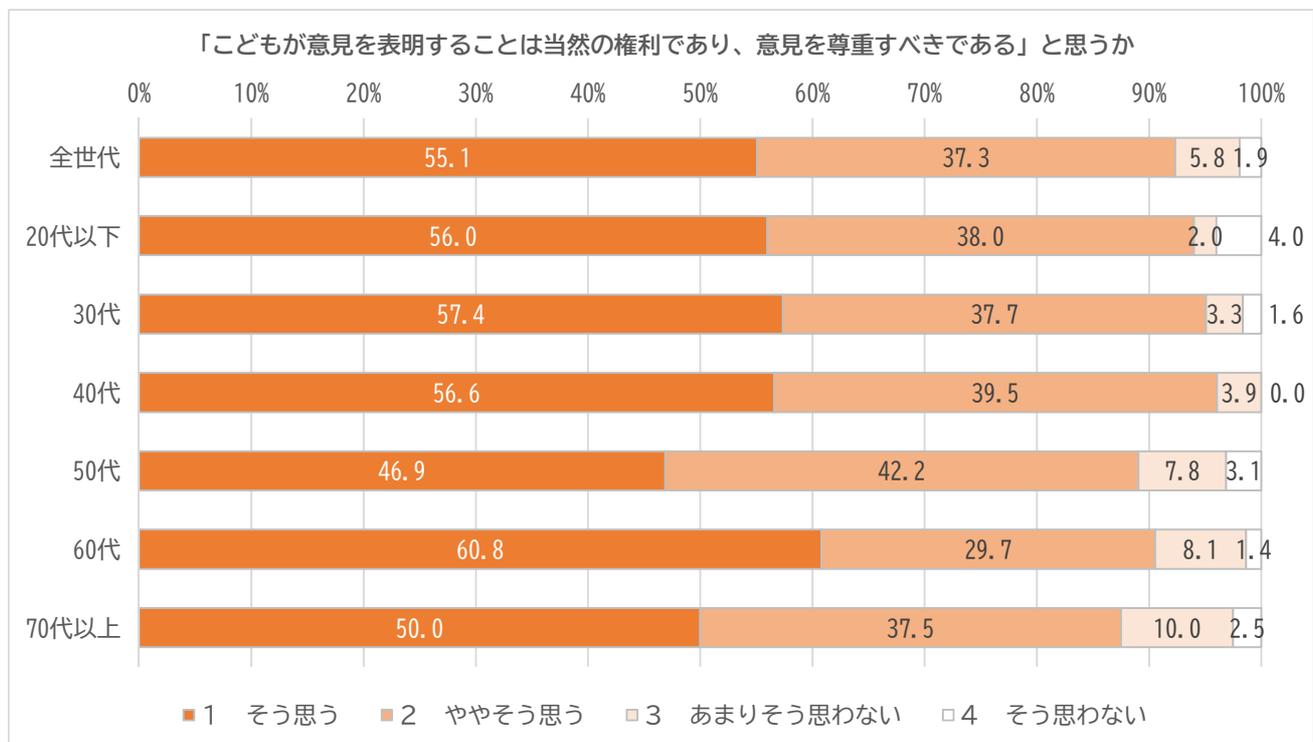
問4 こども基本法の制定により、「こどもまんなか社会」の実現を目指して、こどもの意見を聴きながらこども施策を進めていくことになりました。

あなたは「こどもが意見を表明することは当然の権利であり、意見を尊重すべきである」と思いますか。

次の中から最も当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

	回答数	割合
1 そう思う	201	55.1%
2 ややそう思う	136	37.3%
3 あまりそう思わない	21	5.8%
4 そう思わない	7	1.9%
	365	100.0%

回答	全世代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 そう思う	201	28	35	43	30	45	20
2 ややそう思う	136	19	23	30	27	22	15
3 あまりそう思わない	21	1	2	3	5	6	4
4 そう思わない	7	2	1	0	2	1	1
計	365	50	61	76	64	74	40



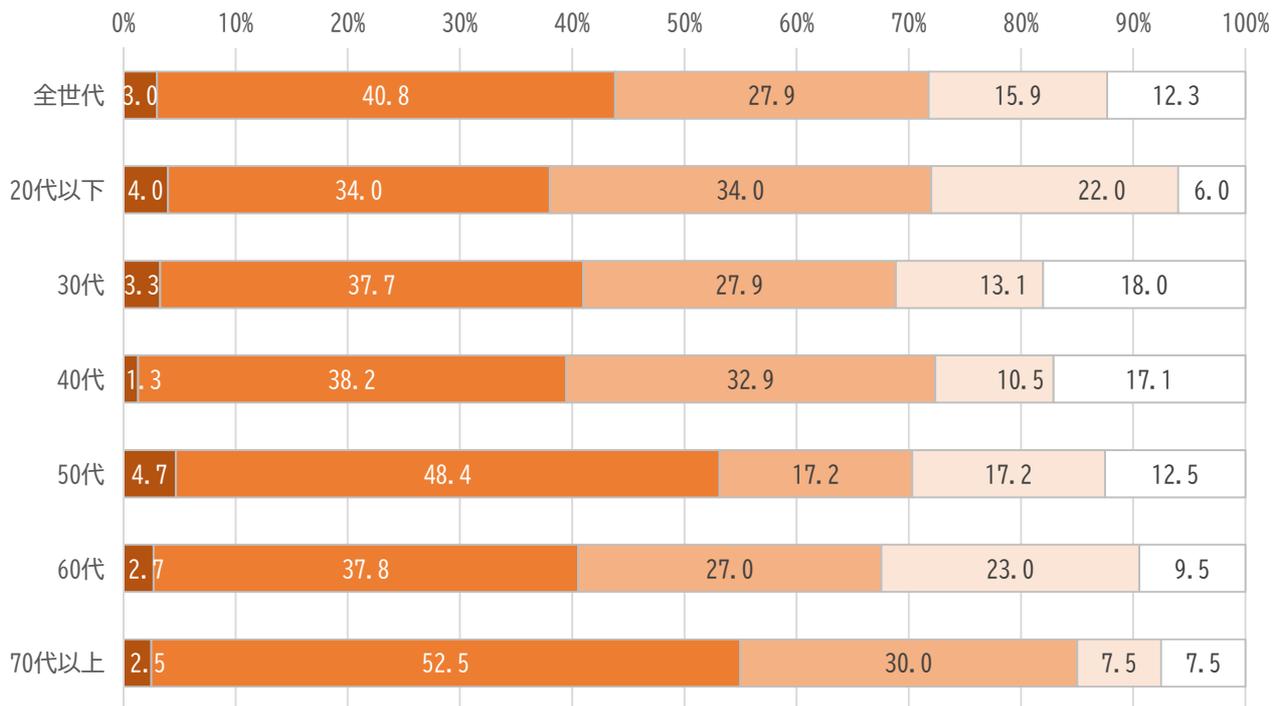
※各選択肢の割合は四捨五入しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

問5 こどもの意見を聴くべき施策の範囲について、次の中から最も当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

	回答数	割合
1 施策は大人が中心となって決めるべきであり、こどもの意見を聴く必要はない	11	3.0%
2 こども自身の個人的な生活領域の事項に関すること（公共施設の利用時間やルール等）など、こどもにとって身近なものについては、こどもの意見を聴くべき	149	40.8%
3 選択肢「2」の内容に加えて、こどもの一般的な成長、福祉に関わる政策（教育、福祉、保健等）など、こどもやその保護者を主な対象とするものについても、こどもの意見を聴くべき	102	27.9%
4 選択肢「2」「3」の内容に加えて、こどもが主な対象ではないが、こどもにも関わりがある政策（例：公共交通、住宅政策等）についても、こどもの意見を聴くべき	58	15.9%
5 こどもに関わるかどうかは問わず、行政施策全般について、こどもの意見を聴くべき	45	12.3%
	365	100.0%

回答	全世代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 施策は大人が中心となって決めるべきであり、こどもの意見を聴く必要はない	11	2	2	1	3	2	1
2 こども自身の個人的な生活領域の事項に関すること（公共施設の利用時間やルール等）など、こどもにとって身近なものについては、こどもの意見を聴くべき	149	17	23	29	31	28	21
3 選択肢「2」の内容に加えて、こどもの一般的な成長、福祉に関わる政策（教育、福祉、保健等）など、こどもやその保護者を主な対象とするものについても、こどもの意見を聴くべき	102	17	17	25	11	20	12
4 選択肢「2」「3」の内容に加えて、こどもが主な対象ではないが、こどもにも関わりがある政策（例：公共交通、住宅政策等）についても、こどもの意見を聴くべき	58	11	8	8	11	17	3
5 こどもに関わるかどうかは問わず、行政施策全般について、こどもの意見を聴くべき	45	3	11	13	8	7	3
計	365	50	61	76	64	74	40

こどもの意見を聴くべき施策の範囲



- 1 施策は大人が中心となって決めるべきであり、こどもの意見を聴く必要はない
- 2 こども自身の個人的な生活領域の事項に関すること（公共施設の利用時間やルール等）など、こどもにとって身近なものについては、こどもの意見を聴くべき
- 3 選択肢「2」の内容に加えて、こどもの一般的な成長、福祉に関わる政策（教育、福祉、保健等）など、こどもやその保護者を主な対象とするものについても、こどもの意見を聴くべき
- 4 選択肢「2」「3」の内容に加えて、こどもが主な対象ではないが、こどもにも関わりがある政策（例：公共交通、住宅政策等）についても、こどもの意見を聴くべき
- 5 こどもに関わるかどうかは問わず、行政施策全般について、こどもの意見を聴くべき

※各選択肢の割合は四捨五入しているため、合計が必ずしも 100%にならない場合があります。

問6 こども施策について、これまでの設問以外に意見がありますか。
ある場合は、その内容を具体的に入力してください。

No	意見	年代	性別
1	高齢化社会において子どもの意見は少数派になってしまうが子どもにも自分に関わりのある事として考えてもらう事は必要。そのため子どもの意見も聞けるような場所、機会を作っていく必要がある	30代	女性
2	子供がいないので、子供に関する話題は興味を全く持ちません。同じように感じている大人は多いと思います。	30代	女性
3	こどもまんなかと掲げている割には住んでいる地域は優しくないです。福岡市など発展している地域ばかりに目を向けるのではなく田舎ほど意見を聞いて欲しいです。高齢者が多く高齢者ばかり優遇されていると感じます。	30代	女性
4	子供に選挙権を与え親がそれを代わりに行使することで、こどものための政治が行われやすくなる。そこまでやらずにこどもまんなかなどと言うのは片腹痛い。成年後見制度と同じ理屈で出来るのではないかと思う。国に先んじて福岡県で行えればこれほど素晴らしいことはない。他県からも人が集まる魅力的な県になれると思う。	50代	男性
5	小学校とか給食食べたら子供達は眠たくなるので、午後からの授業に子供達が主体となって考える授業があるといいと思います。例えば今後学校を良くするために、まず何をしたらいいとかか校庭にどんな遊具をつけたいかとか、今度のお楽しみ会は、どんな事がしたいとかか子供達が主体となって考える授業が大切だと思います。	40代	女性
6	子どもの意見を聞いたからといって、それを優先的に行うのではなく、あくまで選択肢の中のひとつとして扱うならば、非常に有効的ではないかと思う。	30代	男性
7	今回子供をテーマとしていますが、子供の年齢設定はどのように設定されていますか。	70代以上	男性
8	子供は社会全体で育てるのが良いと思いますが実態としては何もやってないし出来ていません。何かできること行政の方でも考え指導をしてください。	40代	女性
9	こども第一に考える施策は大切だが、大人がスマホを使用しながらの子育ては多く見受けられ考えものだ。こどもとしっかり向き合う必要がある	50代	女性
10	「こども」の定義がこのテーマに記載されていないため、こどもの年齢に応じて柔軟な対応をとるべきだと思う。	40代	女性
11	小学校時代、ふさわしくないとと思われる教員が担任でえらく苦勞した思い出。教員をもっと柔軟に解雇しやすくするべきであるし、学校には心理カウンセラーではなく、弁護士を。こどもの意見はえてきてもらえないし、教員にふさわしくないとと思われる人がいてもみんな見ないふり。こんなことをなくしていかなければ人権なんて絵に描いたもちです。また、学校に行く行かないを決める権利も子供に与えてあげたい。ただ、私は子供に甘くしているわけじゃなくて、小学校も資格制度、中学校卒業も資格制度、義務教育だからこそすべきだと思っています。学力を問わなければ。その上で、自分でなんとかするのかそれとも学校が必要だと思うのかは自由。押し付けの教育はやめるべき。	50代	男性
12	子供自身が多少とも自分で考え、真剣な判断が下せるように正しい知識と理解を定着させる教育的な取り組みが並行的に進められる必要がある。これがないままただ意見を聞いても、周囲の大人に左右されたりするなどして、あまり意味のある結果にはならないだろう。	50代	女性
13	子どもは国の宝。 子どもに関する事は、全て子どもの意見を聞くべきだし、そうすることで子どもたちが世の中の動きに興味を持つことができると思う	60代	女性

No	意見	年代	性別
14	大人が完全でないように、こどももそうである。 こどもの気持ちは大事にしないといけませんが、100%意見をきく(のむ)必要はないと思う。 間違いと思うことは大人の判断で正していいし、大人はそうしなくてはいけない。 最近、こどもの人権におびえ、こどもを正しく導こうとしている大人が少なくなっていることに、逆に危惧を感じている。	70代以上	男性
15	こどもの意見はもちろん尊重してあげるべきだと思うが、大人もしっかりとした考えを持って取り組まないと、変な方向に行くことが懸念される。	40代	男性
16	家庭の経済格差により子供の体験格差が発生していると聞きます。 こどもが小さくても「こどもの意見」を聴くことを福岡県が日本で先駆けて実施してはいかがでしょうか。	50代	男性
17	子どもの視点での意見は大人が見落とす可能性がある視点があるので意見を取り入れた方がよい	30代	女性
18	全て子どもの意見を聞く必要はないと思う。子どもは未熟なので、常識や知識も乏しい点があるため。だから子どもと大人と一緒に寄り添いあってルール作りをする事が、お互いを尊重し合える思いやりのある素晴らしい大人になるための第一歩だと思う。	50代	男性
19	もっと子供達が遊べる施設を希望します。	60代	男性
20	子供は立派な意見を持っていますので子供にも意見ができるような場所、またそれが反映される機会があれば良いと思います。	30代	男性
21	子供が増えれば増えるほど経済的負担が増えている。子供が増えることに経済的メリットがない社会政策が問題と考える。子供の数に応じて所得等に関係なく大きく減税するか補助をするか、して欲しい。また、子供と一緒に休日に過ごせる場所が屋内・屋外問わず非常に少ない。	60代	女性
22	親子の意見を聞くべきだと思います。当事者じゃないと分からないことがたくさんあると思いますので。	50代	女性
23	こどもの定義をどこまでとするか。 意見を集める姿勢は重要であると思う。(まともな意見を探すことが大変労力がかかる) コンサルが見出せることが多そう。	60代	女性
24	こどものために出来る事は、こども自身だけではなく、子ども達に関わっている大人(保育士/教師/子育てを終えた主婦など)の視点から子どもの立場に立った意見も政策に反映させた方がよいのではないかと考えます。 子どもが良いと考える事は、その子の心の発達に左右される為、未来思考より現実的な面のみが強調されてしまうなど様々な問題点もあります。多角的な視点からの分析が必要であると思います。	50代	女性
25	自治体の首長と、児童生徒の代表との面会や会談などが行われるが、発信されるのはその内容のみ。いかにも子どもの意見を聞いてますよという、いわゆる帳面消しの感が否めない。その内容から自治体側が考えたことや改善点、問題点を発信してほしい。	20代以下	女性
26	体験型を増やしては	40代	女性
27	こども施策を行う際に子供の意見を取り入れるのも大切だと思います。 今は子供の将来を念頭に置いて国自体も政策を打ち出していますが、子育て世代が手厚い補助がある中、出産可能な年代の氷河期世代が該当する給付がなく、生活不安を抱えて世帯を持てなかったり、子供を断念しなければ生活出来ない現実もこども施策に含めるべきだと思います。	40代	男性

No	意見	年代	性別
28	身近な例では小学校の統合などの意見が子供の意見どころか地域の高齢者などの意見によって決められています。 また必要性の感じない役場の新設などに税金を使い子供向けの施策がほとんどない地域もあります。 4人の子供を育てる親として県が主導して現状のような地方行政のあり方を改善、主導してほしいと切に願います。	30代	男性
29	子供は宝物です。みんなで社会のなかで育てましょう。	60代	女性
30	子どもの意見を聞くことは大切だとは思いますが、守るべきルール of 意義など大人も説明しなければならないと考えますし、『ならぬものはならぬ』というものもあっていいのではないのでしょうか	20代以下	男性
31	大人子供をきっちりしなくても、県住民、意見のある人の声を聞いたら良いと思います。	30代	男性
32	こどもに係る意見聴取に関してエクスキューズとして行くくらいなら行わなくて良い。 真にこどもの意見を政策に反映させる気を県が持った時に、行くべきである。	50代	女性
33	選挙投票率、資産運用等、世界から見て日本人の意識が低いことは明らかです。子どもの頃から、もっと政治、経済について身近に触れる機会、体験があれば、と思います。	20代以下	女性
34	子どもは親の言う事を聞くもの、という固定観念があるので、なかなか子どもの意見を聞くまでにはいかない。子どもはどうしてもその場の感情に流されて先を見据えた適切な意見が言えないのも影響している。	30代	男性
35	こどもへの配慮より子育てをしている世代への配慮に政策がすすめられている感じ。正直、子供に縁のない暮らしをしているので現実感がない。ただ、子供にばかり顔をむけてるなあと高齢者はうらやましい。	70代以上	男性
36	こども施策がある事自体知らない。まず全県民に知ってもらう事が大事。子供全員から意見を貰うなら学校に協力してもらうべき。	30代	男性
37	公民館等を通じて、子ども達が集まる機会を増やして、子どもの意見を聞いたりアイデアを取り入れる工夫があれば良いのかなと思います。	40代	女性
38	福岡県（福岡県内の市町村）では、高校生までの保険診療が低額の月額上限（または無料）となっていたりして、手厚い支援がなされています。 こども施策をいろいろとやって充実させるよりも、行政コストの視点から、学校教育・地域内の取組・一般家庭への経済的な支援を軸に、その充実を図ってはどうか？小中高校教諭の待遇改善や学校の統廃合に伴う教育環境の充実など。高校・大学の実質無償化、一部の低所得者向けの経済的な支援等の国の方針はあまり効果的でないように感じています。	50代	男性
39	子供は日本の未来を背負っているから、大切に育てていかなければという意見にはある程度賛成。ただ、大切に過ぎるのもどうかと感じる。	50代	女性
40	子無しの為具体的に子供の教育等触れる機会がなく「こども基本法」も聞いた事はありませんが、具体的な対策は知りません。 実際にどういった事がおこなわれているのでしょうか？ 子供を守るのは大人の義務かとは思いますが今は「躰」は学校で行うものという考え方の保護者もいて親の役目を果たしてない保護者もいると思います。スマホが当たり前で与えられそれを利用しないと子供達の日常生活に支障が出る現代ではなかなか全ての子供の事を見守るのは不可能だとも感じます。守ると同時に監視も必要でしょうし、時には力づくで強制する事も必要かと思えます。少子化が進んでいる事もあり子供に甘い保護者が多い傾向もあると感じます。	60代	男性
41	政治に振り回されていることを感じます。福岡県は自信を持って施策をすぐ進めてください	70代以上	女性

No	意見	年代	性別
42	子どもには、安全に健やかに育てたいので、強く押し進めると良いと思う。乳幼児を育てている親にも国内では此処で育てて良かったと思える様に、福岡県にはなってもらいたい。	60代	男性
43	成人してからいきなり政治や政策について興味を持つというのは酷だと思えます。小さい頃から自分の意見で身の周りの環境が変わることもあるんだと意識させるのも良いと思う。政治といった言葉で縛らず、自分たちの言葉も伝わるんだ、考える意味はあるんだというメッセージを伝える意味も込めて大人から意見を聞かれるという体験が必要なのではと思います。	60代	女性
44	昔のように公園で元気に遊び、大人が遠くから見守る。これが出来たら子供に関する問題は解決する糸口になると思う。	70代以上	女性
45	子供の意見を聞く事も大事ですがみんなが楽しく過ごしてできるようになるといいなあ	40代	男性
46	もっと子供が笑っている毎日になれば良いなとは思っています。	30代	男性
47	政策の具体的な実感がわからない。なにが生かされているのか具体例を知りたい	40代	男性
48	子どもならではの視点での意見も聞いてみるのはいいと思う 子どもたちにとっても考えるいい機会になればと思う	40代	男性
49	人が増えてくれるのはありがたいことですが、マンションなどが増え、公園や緑がすくないので、福岡県が中心となり増やして欲しい。	50代	女性
50	こどもに関する施策は、こどもの意見を取り入れるべきだと思います。意見収集の方法としてこどもを参加させて意見を聞くのではなく、学校に行政担当者が外向いて積極的に意見を聞いたらどうでしょうか。意見はどんな意見も全て録音し、持ち帰り、担当者独自の解釈ではなく複数の担当者による集約（こども意見の誤った解釈防止）も必要ではないでしょうか。	50代	男性
51	まだまだ子供なので、大人がある程度、決めるべき。	20代以下	女性
52	子供に関して県独自の施策を感じません。もし、国の施策以外の県独自の施策を行っているのであれば、広報誌等で県民に知らせてほしいと思います。	40代	男性
53	子供は未熟であり、意見も未熟である、との考えではなく、ひとりの人間として、意見が尊重されるべきだと思います。少子高齢化の社会では、高齢の意見が優先される傾向にあると思いますが、子供は未来であるので、積極的に子供の意見を尊重していく社会になっていくべきか、と思います。	50代	男性
54	こどもまんなか社会に関して、以前どこかで聞いた程度しか知識がない。様々な事柄が世の中に存在し、こどもまんなか社会だけを大アピールすることはできないだろうが、それに関係する機関においては、大アピールしたほうが良いのではと考える。例えば、子供の権利に関するチラシや宣伝、パンフレットや街頭広告、役所などに掲示するなどである。	40代	男性
55	福岡県は子どもに関する施策が優れていると思います。	70代以上	男性
56	福岡県は子供に優しい場所ではないと感じる。中学や高校では競争が重視され、それに乗り切れない子供たちは重視されてこなかった。これは親として痛感してきた。どこから変えていくべきかは分からないが、教師の数を増やす、部活など教師の負担を減らす、不登校などを対処する場所を増やす、などの必要性を強く感じる。	60代	男性
57	質問の選択肢の内容が、高圧的で上から目線オーラが凄い。「机上の論理」的思考での文章に思える。子どもへの慈愛をみじんも感じない。	30代	男性
58	世の中、親ガチャ、子ガチャと言いますが、子供達が学習できる、遊べる、体験できる機会を福岡県は積極的に行っているのではないかと思います。今後とも、その機会を下さる様ご尽力ください。	20代以下	男性

No	意見	年代	性別
59	どうしても大人目線の施策になりがちなので、子ども食堂や遊具施設の充実した屋内施設の整備が望まれます。	30代	男性
60	こどもの権利を尊重するためには子供の意見を聞くことは大前提だと思います。経験不足、発信する力の不足など、こどもだからこそ力が不足する部分もあるため、大人がこどもから意見を聞く場づくり、丁寧な聞き取りが必要だと思います。また、子育て世代の意見もこどもの権利を考える上では必要不可欠だと考えます。	40代	女性
61	大人は常識的な事を言うのに対し、子供は時々思いもしない事を言う事があり、それが的を射ている事もあるので話しを聞くのも一案だと感じます。	50代	女性
62	使う、遊ぶ主体は子ども、子どもたちのストレートな意見を拾い上げることが大事！	40代	女性
63	財源がある自治体はさまざまな政策をしているが、地域によっては子どもに対する予算が足りていないと思う。子どもの権利について全議員に講義をして頂きたい。	20代以下	その他
64	あくまでも子どもの意見を聞く分には、たくさん聞いたほうが良いと思うが、それに左右されすぎるのは違うと思うので、意見はたくさん集めた上で、きちんと判断できる大人が決めれば良いと思う	50代	男性
65	知識、経験のあるものは良いが、まったく知らないことは何のことかもわからないと思うので、全てに意見を聞くことは大事だが、バランスも必要かと思う。	60代	男性
66	大人とこどもを区別して考えるのではなく、こどもからもっといろいろな意見を聞く場を設けていくことが必要だと思います。こどもに気軽に意見を聞いたり、参加する機会を増やしていくことを県として考えて欲しい。	50代	男性
67	広く子どもの意見を聴いて尊重していく事は大事だと思います。 子どもなりの視点が視えて改革出来ることを見つけられそう。 大人だけの視点でだと押し付けのようになる場合もありそう。 子どもは社会で育てる意識があるが、近年防犯上やたら声かけも出来ないのが現状にあります。 でも、見守りだけは大人達が続ける事は大切だと思います	70代以上	男性
68	福岡県内の子どもは全て平等にしてほしい。医療費の負担がほんと数十メートル先にある自治体と自身が住む自治体でどうしても数百円も差があるのか理解に苦しむ	30代	女性
69	子どもがまんなかにい続けるためにも、子どもの周りにおける環境(人・もの・情報)が大きいと考えているため、周囲の大人たちに心身ともに健やかであり余裕がある必要がある。また、財源の確保は教育上もっとも重要と考えるため、企業誘致や賃上げなどお金が潤い循環する街作りが必要。情報については、子どもだけでなく大人の情報リテラシーを高め、正しく恐れ正しく向き合っていくことも重要だと考える。	30代	女性
70	一時預かりを利用するだけでかなり大変な経験をした。保育園によって子供に寄り添ってもらえない現状を肌で感じ、同時に危機感ももった。預けたら安心ではなく預けてる間どう過ごしてるか心配のほうが上回り幼いうちはやはり自分で見るしかないと思ってしまった。もっと開かれた子育て空間を自治体主体で設けてもらえると安心。	30代	女性

No	意見	年代	性別
71	問5の意図が正しくつかめなかったのだが、施策を決定する過程で当事者の意見を聞くのは当然のことだと思う。もちろんこの場合の当事者は未成年であるため、意見を述べるにとどまり決定の場に参加することは難しいが、子どものための施策や子どもにかかわる施策であるなら、子どもの利益を代弁する人が決定の場にいることが望ましいと思う。 また、子どもに関する施策について全般に言えることは、まずは何より衣食足りていることが前提であるため、子どもの医療費の無償化、利用する施設の無料化、給食費や学用品の無償化、子どものいる世帯の扶養控除などから議論してほしい。そこを世帯の自己責任や民間の共助に任せたままで「こどもまんなか」をうたうことには正直うんざりしている。福岡県・福岡市はほかの自治体よりも子育て世帯に優しい施策が多く非常に助かっているため、全国に波及できるような取り組みを今後もどんどん進めてほしいと期待している。	30代	男性
72	病院に行きたくても簡単にいけない子供もいると思います。 子供医療証を市区町村単位ではなく県で管理していただけたら、と思います。	40代	男性
73	出産、育児をしやすいような支援をもっと充実させて欲しい。 現実、児童手当だけでは足りない。 子どもができると、2人から3人と家族が増え、光熱費や食費等も一気に上がるため、現在の値上げラッシュのせいで生活が困窮します。とてもじゃないけど2人目を産みたいとならない。 家も広い家に住み替えたいが、家賃の負担増のことを考えて住み替えや住宅購入までの余裕がない。	40代	女性
74	子供用の自転車のヘルメットの助成を行ってほしい。	30代	男性
75	体験格差に繋がらないよう、こどもが安価に遊べる施設を充実させてほしい。	50代	女性
76	私の周りに子供がいないのでおそろかになっているのを反省しています。 こんな私達にも触れられる環境があればと思っています。	30代	女性
77	昔の様に子供会で祭りやドッチボール大会、ソフトバレー大会 いまはサッカーとかなのかも。 塾や習い事、で子供達が集まらないのか？ 子供達の交流があれば良いなと思います。	50代	男性
78	問5では4.を回答していますが、2, 3, 4ともに子供の知識、経験の度合いにより意見のきき方も多様にしないと子供の意見を正當に評価できないと思います。施策について子供の意見を聞くということは具体的にどのような施策についてどんな質問をどの対象の子供に行っていくのか、行政の透明性を期待するところです。	60代	女性
79	こどもの知識はとても狭い、その中でなんでもアイデアや意見を求めるよりは、大人の専門家が多角的に集い、子どもにこういうやりかたがあるんだけど、どう思う？というようなやり方もとりいれたらいいと思います。	50代	女性
80	我が家では子どもの意見を尊重しすぎて、子どもファーストで育てた結果、良くなかった面もありました。バランスを見て大人が主導権を譲らないことも大事だと思います。	50代	女性
81	こども施策で子ども達は広く社会について考える経験を重ね、社会に出た時に自分達や次の世代を代表して考え実行できる大人に成長してほしいと思っています。	30代	男性
82	少子化対策を福岡県がどこよりもリードするようお願いします そこが何よりも重要です 家庭の負担を減らしてください	20代以下	男性
83	少子高齢化のこの時代、教育費の無償化など子どもを育てやすい環境にしてほしい	20代以下	男性

No	意見	年代	性別
84	こどもに対する施策について、個人的な問題もあると思いますが設問にある内容をほとんど知りませんでした。もっと県民への情報発信を行なってほしい。	50代	男性
85	子供は未熟な部分があるので、それを鵜呑みにするのではなく「アイデア」として取り入れるのは大いに活用したいが、間違えた解釈を子供たちがすると「自分たちは優位だ」と思いそう。	40代	女性
86	子供の意見は、まだ未熟なものがあるので、全て子供の意見通りにするのは危ないと思う。大人が、子供の意見を聞くべき案件なのか、そうでないかを判断することが重要。	50代	女性
87	子育てが終わっているものについては、現在手当など手厚くなってきているが、実際金さえ出せばいいものではなく少子化など真剣に考えなければいけないことがあると思う。	50代	男性
88	こども未来課が設立されたのは知っていますが、いまいちどのような活動をしているのかわかりにくいところがあります。子供の虐待や貧困問題を改善することは現代社会において急務となっており、困っている子供たちのSOSにいち早く気づいてあげるために力を入れていかなければならないと感じています。	40代	女性
89	これから高齢世代が増えていき子供が減っていきます。子供を大切にする世の中でないといけないと思う。	20代以下	男性
90	子ども園へ幼稚園が変わろうとしていますが、大きな市でもまだまだ担当者さえどうしていったら良いのかよく分かっていないように聞きます。もっと行政が引っ張っていけるように各市町村職員への啓発と研修をしっかりとしてほしいです。	60代	男性
91	教育というと一律に勉学ととらえられ、高校、大学の無償化の話となるが、個々の特性を生かして将来の進路を考えられる教育を行うべきかと思う。勉学が嫌いな子が高校に行き、わからない勉強をしてもあまり意味がない。勉強は、基本だけあれば良い。子供が将来自分の好きなこと、得意なことを伸ばせる教育、自分で考え、自分に自信をもてる教育を小さいころから行うべき。	60代	女性
92	少子化問題に取り組む必要性を鑑みるともっともっと人とお金を子供たちに使っていただきたいです。	50代	女性
93	「こどもまんなか社会」を推進するには、ある程度の年齢の子どもを自治体の住民投票に参加させることが有効だと思います。社会に向けて自分の意見を発信し、それによって社会が変わっていくことを実感してもらうことが肝要です。	40代	男性
94	子供の意見が正しいかどうかは置いておいて、（それはまた別問題）意見は聞いた方がいいかもですね。あとは子供食堂とか民間をあてにしないで、自治体でもっとどうにかしてあげてください。	40代	男性
95	子供の保護について一番大切なことは、学校での「いじめ」がない環境づくりが一番大事であり、学校としては常にこの件を重視していかなければならない。子供が楽しく勉強をし、多くの友達と遊ぶ環境を学校と保護者で是非、作ってほしい。その手助けを県がリーダーシップを発揮できるようお願いいたします。私は、「こどもまんなか社会」という立派な文言よりも子供が楽しい学校生活ができ、毎日学校に行きたくなるような、福岡県を目指してほしいと思います。	70代以上	男性
96	教育機関と県や市町村が一体となって情報と現状を広めながら取り組みをしていけば良いと思います。	50代	男性

No	意見	年代	性別
97	<p>こどもまんなかの政策を進めるのはとてもいいことだと思う。自治体の職員も減少し、就職希望者の争奪が行われている中で、生まれ育った自治体の職員を希望する者がもっと増えてほしいと思う。子供の頃から行政に参加し、故郷を好きになってもらい、地域のために恩返しをする気持ちを持った若人が育つように自治体と連携して取り組んでもらえる事業を推進していただきたい。</p> <p>こどもの権利条約に「子どもの養育はまず親に責任」という条項があります。昨今の世の中は、権利優先になっているためにカスハラ等が多くなり、こどもの教育現場にも影響が出ており、教員不足に拍車がかかっていると考えています。常識しらずの親が多くなれば、それを見て育った子供は将来同じ考えを持つかもしれません。学校は人権学習等を行っていますが、まずは親が責任をもって常識を教えることが大切だと思いますので、こどもまんなかの政策を考えると同時に、親やこれから親になっていく世代に向けての、子育てに関する政策等も推進していただきたいですね。</p>	40代	男性
98	<p>時代の流れのスピードも変化も大きいので、何をしても子供を大切に作る施策にしてほしい。</p>	40代	男性
99	<p>子どもが社会や施策にかかわることで、社会や行政に参加するという意識が芽生えることは重要だと感じます。子どもだからこそ、理解できていない社会の複雑さとの兼ね合いで不可能なこともあるかもしれませんが、子どもの目線だからこそ大人が見失っている視点があることも多いかもしれません。子どもがのびのびと過ごせる社会になってほしいです。最近、虐待が話題になり怒られられない子どもが増えてますが、社会の中で、心配になる成長の子どもたちも増えています。間違っていたり社会のルールは教えるべきだと思います。また、変にこどもだからと気をつかうのではなく、わかりやすく議論をすることも必要かと思います。</p>	50代	女性
100	<p>こどもを支える親世代の負担軽減の観点から、0から2歳児の保育料について現行よりも県として補助を増やして頂きたいと感じる。</p> <p>現在では、2人以上の子供を持つ場合、歳の差が近い程、保育料など補助が多い。同じ2人、3人の子供を育てるのに子供の年齢や学年で、かかる費用が異なるのは全く理解できない。</p> <p>人口増加に貢献している、子供3人目以降の保育料は全世帯で無償化して良いのではないかと思う。</p>	30代	女性
101	<p>施設に於いて子供が何をしたいのか良くリサーチするべきです。ただゲームをすればいいものではないと思うので。</p>	60代	男性
102	<p>まず学校から、チャイルドファーストの仕組みを県主導で進めていきたい。</p>	50代	男性
103	<p>子どもの意見を聞くことは素晴らしいと思うが、どの子の意見を聞くかは難しい選択。</p> <p>個人の意見を取り上げてくれるのか？</p> <p>意見が偏らないのか？</p>	40代	女性
104	<p>まずは学校での「児童の権利条約」の尊重が大事であると考えている。</p> <p>こどもにとって学校は、社会であり、今後生きていくうえで重要な最初の場所だからである。</p> <p>過去の実体験で、こどもの意見を最初から聞き入れない教育者、こどもだからと意見を蔑ろにし、問答無用で大人の決めたことに強制的に従わせる教育者が多くいた。</p> <p>より力を入れるべき問題であると考えている。</p>	20代以下	男性
105	<p>現場の意見や状況を理解して施策を考えて欲しい。また、働く親としては、病児保育を考えてほしいと思います。</p>	70代以上	女性

No	意見	年代	性別
106	子供の意見を聞く場を設けるのも必要ですが施策を決定するのは、大人の仕事と思う。 完璧な施策でも時代とともに変わる必要がある。	50代	男性
107	子どもに対しての大人の対応の仕方、親も含め親以外の方々にも伝えたい方がいいのではないか。	20代以下	女性
108	子供を育てる親の意見でなく、大人に分類される前の子供の意見をしっかり聞くべきだと思う。	50代	女性
109	子どもは未来の日本を担う、大事な宝だと思います。また、一人の人間であり、個人として尊重される存在です。もし、学校で虐めにあったり、家庭で何か問題や辛いと感じる事があつたら、躊躇することなく、伝えられたり相談しに行ける場所がもっと必要なと思います。そのような相談窓口や場所、機関を増やし、気軽に何でも言える場所や大人がいる事を知ってもらい、安心して、のびのびすくすく、健康に育って行って欲しいと願います。	40代	女性
110	子供が成長し社会人として立派に自立できるような子育て環境を作ることが大事だと思う。金をばらまくだけが子育て支援にはつながらないと思う。	70代以上	男性
111	・就学援助が市町村によってバラツキがあるのはなぜ？住んでる市町村で支援に差があるのはおかしいと思う。 ・県内の公立小中学校(県立、市町村立)を完全給食にしてほしい。栄養のある食事をすべての公立学校のこどもが食べれるようにしてほしい。お金がなくて充分なお弁当が用意できないこどもを助けてほしい。	40代	女性
112	調査対象の母数を増やせば子ども達の望む的確な情報が得られると思う。	20代以下	男性
113	こども施策についてはあまり知らなかったもので、今まで以上に情報提供をお願いしたい。	70代以上	男性
114	子供の意見を聞き、尊重するという考え方には賛同できるが、受け取るべき大人が(もしかすると、子供も)その意味を履き違えている気がする。意見を尊重する=意見を何でも受け入れる(何よりも優先される)、子供の安全・安心が最優先、子供は社会全体で守るべき・守られるべき存在といった、偏った考え方には賛同できない部分もある。間違えたことを正すという事も、広い意味で子供を育てるということに繋がるという事も理解して欲しい。	50代	男性
115	こどもに意見を聞くといっても、子ども自身の個人的な意見しか聴取は期待できず、その意見が施策に有効活用できるのかは、コスト面を考慮しても必要性を感じない。 それよりは保護者や教育関係者、こどもに関わる地域団体に意見を聞いたほうが建設的だと思われる。	30代	男性
116	こども主体にしても、よく理解してない子の意見はあまり参考にならない。 まずは、こどもの意見を聞けるような教育が先だと思う。 意見を聞くことがゴールにならずに、その意見を活かすようにならないと何の意味もなさない。 それぞれの分野でこどもから好かれるような話しアプローチができる人が教える場が必要。しっかり選定をしてこどもが成長できるようにすると良い。	40代	男性
117	自治体によって子ども支援の内容が違う(オムツ配布等)のが残念です。	30代	男性
118	政府等の公共機関の情報発信が不十分だと思います。	60代	男性

No	意見	年代	性別
119	子どもは大切だし、施策も必要。 只、親側の主張が強すぎるくらいがあると思う場面が多い。 現金支給より学校生活に必要な費用が無い施策が良い。給食費用や学用品などが無償のほうが余程、公平。 現金だと子どもに使われるとは限らない。	60代	女性
120	こどもの意見を聞くためには、家庭内での親子の会話を密にすることが大切。	70代以上	女性
121	きちんと成果の出る施策を考えて取り組んでほしい。	70代以上	女性